

科目名	実習Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター夜間学科	期	通年
コース	ファッションクリエイター夜間コースデザイン専攻		夜間
学年	2年	授業形態	講義20%実習80%
時間数	150	作成者	酒井知可子

【科目の到達目標】

ショールカラーのジャケット、テーラードジャケット、ラグランスリーブのコートにより作品の構造を理解し、縫製知識と技術を修得する。

【科目の概要】

ファッション業界において商品企画をする為に洋服の構造を理解することは不可欠である。企画を立てるにあたっての必要な縫製技術と知識への理解を深める。

【授業計画】 75分/コマ

前期		後期	
1・2	ショールカラーのジャケットの製図	31・32	チェックテーラードジャケットの製図
3・4	ショールカラーのジャケットの裁断	33・34	チェックテーラードジャケットの裁断
5・6	ショールカラージャケットの縫製	35・36	↓
7・8		37・38	チェックテーラードジャケットの縫製
9・10	↓	39・40	↓
11・12	↓	41・42	↓
13・14	↓	43・44	↓
15・16	↓	45・46	↓
17・18	↓	47・48	↓
19・20	↓	49・50	↓
21・22	↓	51・52	↓
23・24	↓	53・54	↓
25・26	カットソーの製図・裁断	55・56	↓
27・28	カットソーの縫製	57・58	↓
29・30	カットソー仕上げ 試験	59・60	↓
		61・62	ラグランスリーブのコートの製図
		63・64	ラグランスリーブのコートの裁断
		65・66	↓
		67・68	ラグランスリーブのコートの縫製
		69・70	↓
		71・72	↓
		73・74	↓
		75・76	↓
		77・78	↓
		79・80	↓
		81・82	↓
		83・84	↓
		85・86	↓
		87・88	↓
		89・90	提出 試験

【成績評価方法】

作品(的確な縫製、完成度)60%、試験30%、平常点10%(課題全提出、締切期日の厳守)
指導要綱の認定要綱に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

プリントを配布

『ジャケット』『コート』『テーラリングテクニック』 上田安子服飾専門学校最新版

【教材・教具】

ミシン等縫製機器、洋裁道具一式 定規類一式

科目名	クリエイションテクニックⅠ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター夜間学科	期	前期
コース	ファッションクリエイター夜間コースデザイン専攻		夜間
学年	2年	授業形態	講義20 % 実習80 %
時間数	50	作成者	酒井知可子

【科目の到達目標】

レディスウエアの基本アイテムであるシャツ、パンツの構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。

【科目の概要】

テーマ、企画から縫製時間を配分し、納期を意識して作業を行う。

【授業計画】

75分/コマ

1・2	シャツ、デザイン～製図	
3・4	シャツ、裁断、縫製	
5・6	シャツの縫製	
7・8	↓	
9・10	↓	
11・12	↓	
13・14	↓	
15・16	↓	
17・18	パンツの製図、付属の製図	
19・20	パンツの製図、仮縫い(トワール)	
21・22	パンツの縫い代付きパターン作成	
23・24	パンツの縫製	●薄物始末
25・26	↓	↓
27・28	↓	↓
29・30	提出	試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

『ブラウス』『パンツ』配布プリント

【教材・教具】

ミシン等縫製機器、洋裁道具一式、製図用具一式

科目名	パターンメイキングⅡ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター夜間学科	期	通年
コース	ファッションクリエイター夜間コースデザイン専攻		夜間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	100	作成者	上田安子パターン担当

【科目の到達目標】

理論を技術に結びつける。アイテムのパターンをデザイン画を見て表現できるようになる

【科目の概要】

時代のデジタル化に伴い、ファッション業界におけるパターン分野では3DやCADの多様化が進んでいる。しかしパターンの基礎・応用が確立した上でのデジタル化が必要不可欠である。この科目では原型から平面パターンを作り、トワールを組み立て立体としての確認を行い、さらに工業パターンに仕上げるための技術を学ぶ。

【授業計画】 75分/コマ	前期	【授業計画】 75分/コマ	後期
1	パンツのバリエーション	31	実習チェックジャケットパターントレース
2	" スラックス原型	32	表襟・見返し展開
3	" ①バギー②ベルボトム③ベッグトップ④フレアー	33	" 工業用パターン作成
4	" 採寸・自分サイズの実寸スラックス原型作成	34	" →実習へ
5	デザインパンツ 作図(自分サイズ)	35	パターンメイキング概論
6	" 自分サイズトワール両身縫い	36	身幅の移動OP増量→JK、COへ
7	"	37	キモノ袖原型→カット無しへ
8	"	38	2型トワール検討
9	ダーツ操作のバリエーション ①②ウエスト	39	メンズ台襟シャツ
10	" ③センターダーツ④ゴージャック	40	" 作図
11	" ⑤ショルダータック⑥アームホールギャザー	41	" トワール組
12	襟のバリエーションより	42	"
13	" ⑦ステン⑨テーラード	43	" 工業用パターン作成
14	" トワール作成 立体検証	44	"
15	袖のバリエーションより	45	子供服原型 110cm スローパー作り
16	" ①パフ⑤タック⑥フレアー	46	" ワンピース作図
17	" ⑦ランタン⑧ペタル	47	" トワール組(ノースリ・ノーカラー見返し始末ミシン縫い)
18	創作ブラウス	48	"
19	" バリエーションの中より創作デザイン	49	ジーンズ
20	" トワール組	50	" 作図
21	"	51	" トワール組
22	" 工業パターン作成	52	"
23	"	53	" 工業用パターン作成
24	身頃続きの袖(マチ)	54	" 見返し、持ち出し、ポケット袋布の理解
25	" ①三角マチ②ひし形マチ③五角マチ	55	マウンテンパーカー
26	" 各種の中から1点トワール組	56	" 作図
27	スカートのパリエーション	57	" トワール組み
28	"	58	"
29	" トワール組	59	まとめ
30	"	60	"

【成績評価方法】

課題の評価60%

期末試験の評価30%

授業態度の評価10%

【教科書・参考書】

服飾手帖社『パターンメイキングⅡ』

山路俊美『メンズ製図集抜粋』 配布プリント

【教材・教具】

製図用具、模造紙、製図用シャープペンシル カッター、メンディングテープ、ドラフティングテープ
トワール、シルクピン、ミシン用具 ICテープ

科目名	ファッションドローイング&ファッションデザイン論	整理番号	
学科	ファッションクリエイター夜間学科	期	通年
コース	ファッションクリエイター夜間コース デザイン専攻		夜間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	100	作成者	三谷和也・佐藤良祐

【科目の到達目標】

基礎的なドローイングをマスターし、幅広い表現力を目指すとともに、デザイン能力の向上を目指す。
更にアパレル商品企画の基礎知識を身に付け、企画を立ててニーズに合った提案ができる。
デザイン画などのビジュアルツールで自分のイメージを確認し、他者とのコミュニケーションをはかれるようになる

【科目の概要】

アパレル産業におけるデザイン・商品企画に必要な知識と技術を学んでいく。
デザインするにあたって基本的な仕組みや原理、表現力を学び、洋服のデザインに応用する。
ファッションクリエイターが他者とイメージをやり取りするためのデザイン画(視覚化)を製作するため、
絵画的な基礎(理論・技術)の習得・応用、基本的なデザインの発想方法やデザインの考え方の習得を目的とする。

【授業計画】

前期		後期	
90分/コマ			
1	9頭身とオリジナルポーズ	31・32	オケーションMAP
2	デザインとボディーの関係	33・34	トレンドMAP
3	新顔の描き方(写実鉛筆)	35・36	プレゼンテーション1
4	デザイン画における顔の位置付け	37・38	マーケットリサーチ
5	アイテムデザイントレーニング(スカート)	39・40	企業MAP
6	立体的表現方法	41・42	企業MAP
7	フリル、フレーアーの書き方	43・44	企業MAP
8	アイテムデザイントレーニング(ドレス)	45・46	プレゼンテーション2
9	手足の描き方、着色(ガッシュ・水彩)	47・48	デザイナーMAP
10	カラーの話とスタイル画着色	49・50	プレゼンテーション3
11	表現カトレニング(肌の塗り方)	51・52	デザイン発想1
12	小物デザインの重要性	53・54	デザイン発想2
13	ギャザー、ドレープの描き方着色(パステル・色鉛筆)	55・56	デザイン発想3
14	ギャザー、ドレープドレスの書き方のコツ	57・58	プレゼンテーション4
15	メンズの描き方、	59・60	まとめ・テスト
16	デザイントレーニング(メンズ)		
17	子供の描き方		
18	子供服業界の現状		
19	アイテムデザイントレーニング(パンツ)		
20	自らデザインをした物を描く1		
21	コンテストのための表現力の技術		
22	自らデザインをした物を描く2		
23	ファーの表現力、革の描き方		
24	自らデザインをした物を描く3		
25	生地、柄の描き方		
26	テキスタイルの重要性		
27	デザイン画コンテストのための修正		
28	デザイン画コンテストのための修正		
29	デザイン画コンテストのため仕上げ		
30	テスト		

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

『スタイリングブック』グラフィック社 『ファッション・マーケティング』ファッション教育社
立嶋滋樹著『Creation Drawing』服飾手帖社2009年、高村是州著『ファッションデザインテクニック』グラフィック社2005年
ファッション画(志村萌)NANCY RIEGELMAN著『COLORS FOR MODERN FASHION』NINE HEADS MEDIA

【教材・教具】

筆記用具 着色用具 ファッション雑誌など

科目名	クリエイションワーク&カラーリング	整理番号			
学科	ファッションクリエイター夜間学科	期	後期		
コース	ファッションクリエイター夜間コースデザイン		夜間		
学年	2年	授業形態	講義	30 %	実習 70 %
時間数	50	作成者	山本廣道		
【科目の到達目標】					
デザイン分野における主要要素(コンセプト・フォルム・カラー・マテリアル)の基礎を、講義や実習を通して複合的に学び、デザインアイデアの源泉からプロダクトアウトまでを、一貫した流れで考え製作できる力を身につける。					
【科目の概要】					
講義において発想の種になる知識を吸収し、学んだテーマを実習によってフィードバックする。 最終的には、トータルな知識・技術を動員してオリジナル作品の一環した製作をする。					
【授業計画】 75分/コマ					
1・2	授業概要説明	講義: 「デザインにおける色彩の役わり」 演習: はじめての色出し			
3・4	色の分類と配色	講義: 「色の三属性」「対比と同化配色」 演習: オリジナルカラーカード制作			
5・6	色彩の効果	講義: 「心理的・物理的な色彩効果」「様々な混色」「ファッションの色」 実習: 「2色配色・3色配色」			
7・8	トーンによるイメージ配色①	講義: 「トーン別のファッションイメージ」 「ロマンチック・ソフト・フェミニン」			
9・10	トーンによるイメージ配色②	「クラシック・ベーシック」or「マニッシュ・ダンディー」			
11・12	トーンによるイメージ配色③	「フォークロア・ナチュラル」or「スポーティー」			
13・14	デザイン アートとデザイン	講義: 「デザインとは？」 演習: 絵画技法研究			
15・16	カルチャーとデザイン	講義: 「文化的背景と実用性」 実習: アカデミック型のデザイン画			
17・18	サブカルチャーとデザイン	講義: 「若者文化とファッション性」 実習: エディット型デザイン			
19・20	フォルムー造形基礎①	講義: 「ファッションにみる造形的要素」	演習: 山折り・谷折り(直線)		
21・22	フォルムー造形基礎②	演習: 山折り・谷折り(曲線)			
23・24	フォルムー造形応用	実習: レリーフのバリエーション展開			
25・26	作品製作	各自製作			
27・28	作品製作	各自製作			
29・30	作品製作 作品製作	各自製作 発表			
【成績評価方法】					
授業内での課題(60%)+試験(30%)+授業態度(10%)の合計点					
【教科書・参考書】					
適宜レジュメ配布					
【教材・教具】					
スケッチブック・ケント紙・クロッキー帳・アクリルガッシュ・定規類・コンパス・ハサミ・カッター・カッティングマットのり・カネダイン・メンディングテープ・配色カード199					

科目名	服飾素材論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター夜間学科	期	前期
コース	ファッションクリエイター夜間コースデザイン専攻		夜間
学年	2年	授業形態	講義100 % 実習 %
時間数	13	作成者	河本 育子
【科目の到達目標】 市場動向を読み取り、ターゲットのニーズにあった素材提案のできる人材の育成を目指す。 アパレル素材の役割を理解、繊維特性、布地の構造による機能の違いなど専門知識を習得する。			
【科目の概要】 多様化するニーズ、マーケットやチャネルの変化の中にあっても、材料となる素材を抜きにファッションを語る事はできない。 ファッショントレンドと素材の関連性を意識、また市場の動向を踏まえながら、アパレル繊維知識の体系的理解を深めていく。			
【授業計画】 75分/コマ			
1	オリエンテーション		
2	■アパレル製品の生産流通経路		
3	■布地 織物		
4			
5	■布地 編物		
6			
7	■糸 種類と太さ		
8	■素材の加工 染色・プリント・仕上げ まとめ		
【成績評価方法】 提出物 80 % 授業態度 20 %			
【教科書・参考書】 ・一見 輝彦『わかりやすいアパレル素材の知識』ファッション教育社 2012年 ・『生地的事典』株式会社みずしま加工 2013年			
【教材・教具】 筆記用具			

科目名	ファッションビジネス論Ⅰ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター夜間学科	期	前期8回
コース	ファッションクリエイター夜間コースデザイン専攻		夜間
学年	2年	授業形態	講義 80 % 実習 20 %
時間数	13	作成者	榮 和代

【科目の到達目標】

アパレル業界で役立つファッションビジネス知識の構築。

ファッションビジネスの仕組みを習得

【科目の概要】

アパレル業界に必要なキーワードとファッションビジネスの流れを解説。

アパレル産業の構成と職種、小売産業との関連について解説。

【授業計画】 75分/コマ

- 1 ファッションビジネスのしくみ
- 2 ファッション界をリードする世界5大コレクション
- 3 ファッションビジネス産業の構成
- 4 ファッションビジネスの歩みと最近の傾向
- 5 ファッションビジネスの職種
- 6 アパレル産業と小売産業
- 7 まとめ
- 8 テスト

【成績評価方法】

課題評価50% 試験評価40% 授業研究態度10%

【教科書・参考書】

書籍『よくわかるアパレル業界』

【教材・教具】

科目名	コンピュータ演習 I	整理番号	
学科	ファッションクリエイター夜間	期	前期
コース	ファッションクリエイター夜間コースデザイン専攻		夜間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	23	作成者	林 和子

【科目の到達目標】

アパレルCADのソフトを理解し、ある程度の操作方法を身につけ、タイトスカートのパターン作成する。
Illustratorのソフトを理解し、ある程度の操作方法を身につけ、ハンガーイラストを作成する。
Photoshopのソフトを理解し、画像加工の方法を身につけ、マップを作成する。

【科目の概要】

アパレルCAD(Computer Aided Design)とはコンピュータによる「パターン製作」などを行う機械、あるいはシステムのことを言い、時代に即した「アパレル生産」を極めるためには不可欠なものである。パタンナーはそのシステムを理解し、利用できる技術を身につけなければならない。アパレルCADのソフトを理解し、パターンを引き、それに伴う仕様書などの書類を作成するための利用手順を修得する。

【授業計画】75/コマ	前期	【授業計画】75/コマ	後期
1	タイトスカート 縫製仕様書作成 (Illustrator使用)		
2	ハンガーイラスト作成		
3	タイトスカートパターン作成 (PatternMagic使用)		
4	・製図		
5	表地工業用パターン作成		
6	裏地工業用パターン作成		
7	マーキング		
8	√ 縫製指示書作成 (Illustrator使用)		
9	フレアーヨークスカート縫製仕様書作成		
10	ハンガーイラスト作成		
11	タイトスカートのローパー使用		
12	表地工業用パターン作成		
13	裏地工業用パターン作成		
14	√ マーキング		

【成績評価方法】

提出課題(的確さ、完成度)70% 授業への取り組み態度30%
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する

【教科書・参考書】

コンピュータ演習 * アパレルCAD *

【教材・教具】

プリント配布 メモリフラッシュ 筆記用具